

SIC経営者研修講座2023

# 企業を超えた 全体最適化の道を探る

パネルディスカッションの場で経営者同士が語る

システム化・デジタル化の  
新しい活動局面を切り開く

**主催** 一般社団法人システムイノベーションセンター 人財育成協議会

**開催日** 2023年2月1日(水)

**時間** 13:30～16:40

**場所** ザ・プリンスパークタワー東京(地下2階会議室)、オンライン開催を併設  
東京都港区芝公園 <https://www.princehotels.co.jp/parktower/>

## パネリスト



浦川 伸一  
SIC代表理事・センター長  
損害保険ジャパン株式会社  
取締役専務執行役員



齊藤 裕  
SIC理事  
独立行政法人情報処理推進機構(IPA)  
DADCセンター長



古田 英範  
SIC理事  
富士通株式会社  
代表取締役副社長COO



船生 幸宏  
横河電機株式会社  
常務執行役員(CIO)



一般社団法人  
システムイノベーションセンター  
Systems Innovation Center (SIC)



SICホームページ



正会員企業一覧

## 講座の目的

システムイノベーションセンター（SIC）は、日本におけるシステムイノベーションを実現するために、2019年に産業界主導の組織として設立されました。変革期を迎えた産業技術を経営および社会の変革に有効にむすびつけるには、日本がかつて世界を支配した時の「ものづくり成功体験」を捨て去り、新しいビジネスの形とそれを推進する企業文化と産業構造を作り上げなければなりません。そのための鍵となるのは異なる業種業態間の連携であり、その要めとなるのが、高い性能と強い進化能を持つ卓越したシステムです。それには企業の意思決定を担う経営層が企業内あるいは業界内で強いイニシアティブを発揮し、新しい目標を指し示すことがもとめられています。SICは、そのような熱意と危機感をもつ企業が集まって作り上げた企業のチームです。この講習会ではSICの活動のリーダーシップを取っている理事らが、自らの「新しい山」のイメージを自分の経験と重ねて語ります。新しい山への道案内を通して日本の経営者層が新しい山への理解を深め自社のビジネスの変革の音頭を取り、それを通して日本の産業界の変革が進むことを願っています。

## 対象とする聴講者

取締役、執行役員、事業部長クラスの方で企業内部において意思決定を担っておられる方。特にデジタル化やシステム化の担当者、あるいはそれについての課題意識を持ちながら着手する糸口を見出し得ないで悩んでいる方々を歓迎します。業種、企業規模は問いません。

## 研修講座の開催形式

聴講者とSIC理事を中心とした経営者とがフロアで語り合う場を設けるという内容で、講師のパネルディスカッションによる小規模な講座を企画いたしました。対面を重視する形式とし、ディスカッションを行う場所に聴講者の半数ほどが出席し、他の聴講者はオンラインで参加する「ハイブリッド方式」で行います。

## プログラム

2月1日（水）13:30～16:40

13:30～13:35

オープニング:主催者挨拶、趣旨説明

SIC代表理事・センター長 浦川 伸一

「企業を超えた全体最適化の道を探る」

高度成長期における分野連携の成功事例紹介

SIC理事・副センター長 木村 英紀

パネルディスカッション（各15分+質疑10分）

コーディネータ：SIC実行委員 藤野 直明

浦川 伸一 題目：「最新テクノロジー活用におけるアーキテクチャの重要性」

内容：DXがブームとなり数年経過したが、変革を確実に進め、収益貢献している事例がどれだけ増えたであろうか。企業単独ではなく協創DXが叫ばれるが、テクノロジー、特にアーキテクチャの整備が今後の日本経済復興の大きなポイントと考える。経営者としてどの様に取り組むべきか、皆さんと議論したい。

齊藤 裕 題目：「企業連携によるデジタルエコシステムが実現する Society5.0の世界」

内容：欧州はCatena-Xなどでサプライチェーン全体に亘るデータ連携を可能にするデータエコシステムの構築を進めているが、日本でも企業・業種を超えてデータ連携・システム連携をしながら、共創し発展していくSociety5.0実現のキーとなるデジタルエコシステムの構築を目指すDADCの活動を紹介したい。

古田 英範 題目：「企業の生き残りと日本を強くするためのシステム連携の仕組み」

内容：既存のシステムをどうDXのためにトランスフォーメーションするか。一方、サーキュラーエコノミーやサステナブルが唱えられるなかでは、それは1企業だけでは実現することはできない。そのための企業同士の連携を業務改革とシステム実装との両面でどうやって取り組んで行くかを提示したい。

船生 幸宏 題目：「グローバル全体最適を目指したシステムアプローチについて」

内容：DXのベースの考え方はデータの活用にある。データを活用するためにはデータ統合が必要で、そのためには、システムの統合が必要になる。System of Systemsの時代、データの統合範囲が組織内→企業内→企業間と拡がりを見せており、デジタルで如何に繋がるかが問われている。グローバル全体最適を指向したシステム・データ統合について、弊社の経験を踏まえ、そのアプローチを提示したい。

13:35～15:30

全体ディスカッション

15:30～16:30

16:30～16:40

クロージング

SIC理事・実行委員長 松本 隆明

参加申し込み

- ・定員：会場（ザ・プリンスパークタワー東京・会議室）に実出席20名と、オンライン出席20名の参加を募ります。
  - ・参加費：10,000円
- SICホームページ・新着ニュース内の本講座の案内を参照の上、SICイベント参加申し込みページよりお申し込みください。

問い合わせ

一般社団法人 システムイノベーションセンター（略称：SIC）  
所在地：〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-12-7 ストック新宿 B-19号  
事務局 電話・FAX：03-5381-3567  
E-mail：office@sysic.org  
ホームページ：https://sysic.org/



本講座案内のページ



SIC イベント参加申し込みページ

2022.11.30